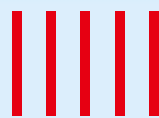


2015
AUTUMN
vol. 156

2015年
教職員共済は創立50周年を迎えました。

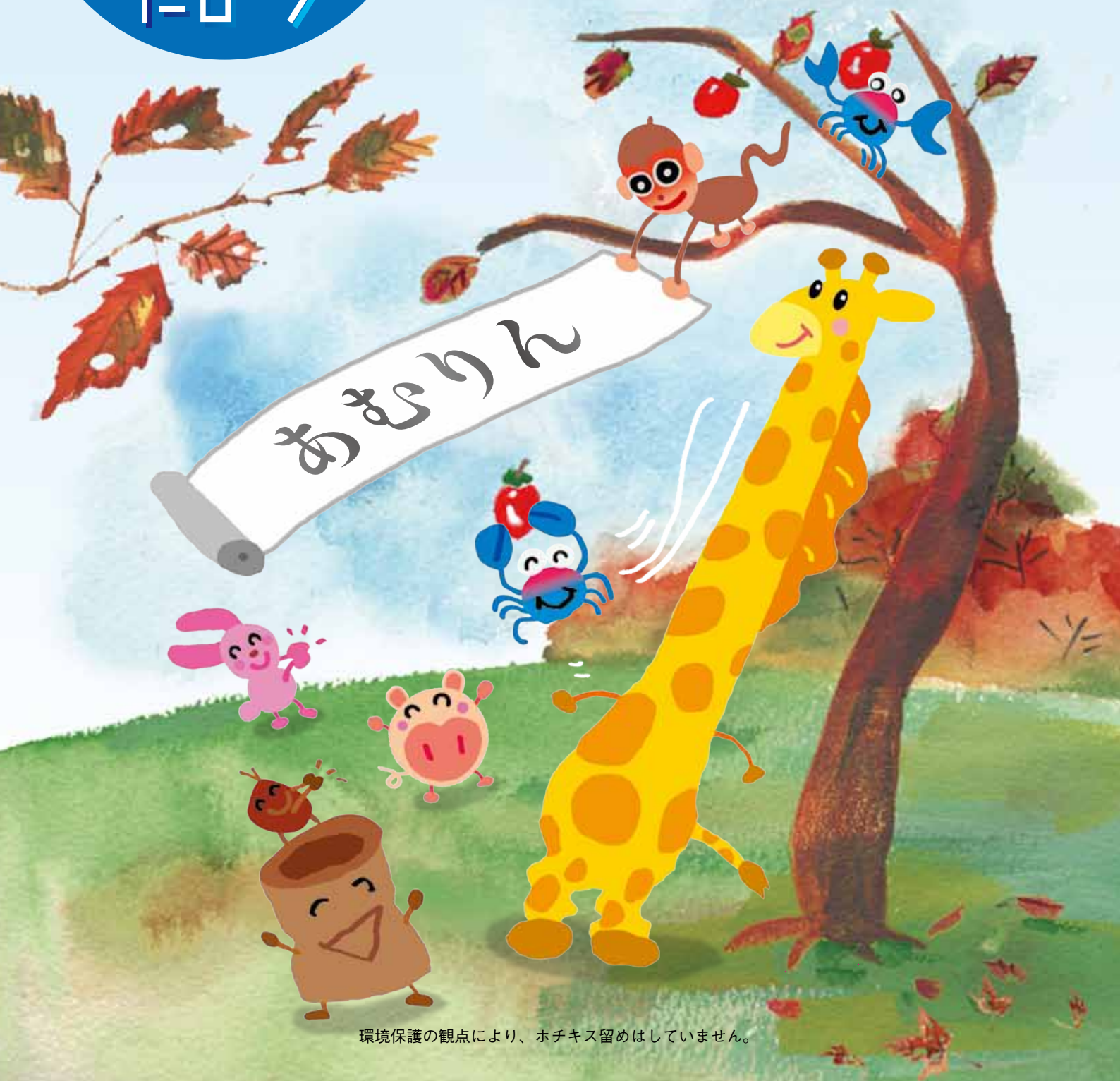


教職員共済 だより



キャラクターの愛称が決定!!

多数のご応募ありがとうございました 詳細は12頁をご覧ください





2015年 vol.156

CONTENTS

- 3 私のおすすめ! 全国の旨いもん⑮ 山形県 いもこ汁
- 4 伝えたい「いのちの重み」⑧
未来に語り継ぐ戦争Ⅱ
—語り部のバトンを次世代へ/戦後70年、岐路に立つ私たちの平和主義—
フォトジャーナリスト 安田 菜津紀
- 8 教職員共済生活協同組合 創立50周年記念対談
今の日本の教育問題について語り合う
教職員共済生活協同組合 理事長 中村 譲
教育評論家、法政大学教職課程センター長・教授、臨床教育研究所「虹」所長 尾木 直樹
- 12 NOTICE〈教職員共済ニュース〉
キャラクターの愛称が決定しました!
教職員共済創立50周年記念祝賀会を開催
- 14 交差点〔全国からのお便り〕
- 16 不機嫌な教室①
統計と理論で読み解く「いじめ対策」
評論家・NPO法人「ストップいじめ!ナビ」代表理事 荻上 チキ
- 19 連載まんが シンマイ先生⑯ めまたこうたろう
- 20 頭の体操

発行人／中村 譲
編集／事業メディア部
編集スタッフ／鈴木栄一朗 土川泉
佐藤かおり 瀧川真美



写真提供:山形市観光協会

旨いもん No.15 全国の

山形県 いもこ汁

山形県では秋になると、里芋やさまざまな野菜、お肉を煮込んだ『いもこ汁』が食卓に並びます。秋刀魚と一緒にいもこ汁が食卓に並ぶようになると「ああ、今年も秋が来たなあ」としみじみ感じます。

いもこ汁は、具材や味付けが地域や各家庭によって違うため、それがいもこ汁の魅力のひとつとなっています。一般的な具材は、里芋、牛肉、ごぼう、ねぎ、しめじ、板こんにゃくで酒と醤油で味をつけることが多いです。

家庭によって、豆腐を入れたり、他の野菜を入れたりするようです。夫は小さい頃、しめじではなく舞茸の入ったいもこ汁を食べて育ったようで、我が家のいもこ汁は、舞茸を入れるのが定番になっています。また庄内地方では、牛肉ではなく豚肉、豆腐は揚げ出し豆腐を入れて味噌で味付けをします。

山形県の人々は秋の行楽シーズンになると、最上川の河原で親しい仲間と、または地区・職場の催し物として『芋煮会』を行います。仲間たちと石でつくったかまどを囲んで食べるいもこ汁は格別です。“ござ”や鍋などは、スーパーで無料にて借りられるようになっています。

秋に馬見ヶ崎河川敷で開催される日本一の芋煮会も有名です。ぜひ全国のみなさんにも、山形名物のいもこ汁を味わってみたいと思います。(山形県天童市立天童中部小学校 眞木 めぐみ様より)

「全国の旨いもん」の投稿を心よりお待ちしております。
ホームページのWAI WAI SQUAREからお気軽に!
教職員共済 検索 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>
掲載者にはJCBギフトカードをプレゼント!

ご存知ですか 教職員共済

教育関係者だけが加入
できる非営利団体です

ほとんど
知りません…

今年50周年を
迎えた教職員
共済だけど、
どんな団体だか
知ってる?



教職員の絆、助け合いの輪を、
もっともっと大きく広げていきたいですね!



当時の自身を「興亜青年」だったと振り返る飯田さん。ニューギニアに派兵された1943年、飯田さんは二十歳になった頃だった。そのとき周辺の制海権、制空権は既に米国に握られていた。一帯は「魔

信じた国のゆくえ
加害者も被害者も犠牲者

が、その言葉にどうしても結びつか
なかつた。けれどもその穏やかさ
は裏腹に、語られた過去はあまり
に壮絶なものばかりだった。

境」と呼ばれ、補給路を断られた
上にジャングルの中をさまよい歩
かなければならず、その大半が、銃
撃戦ではなく飢えや赤痢などの病
魔のために命を落としていったと
いう。所属していた二二連隊は、
3000人のうち300人しか
生き残ることが出来なかつた。「今
あなたと私がこうして話ができる
のは、たまたま「なんです」と、飯
田さんは二つ二つ噛みしめるように
語った。

こうして戦況が不利に転じてい
くにつれ、次第にゲリラの存在に
脅かされていくことになる。あると
き、ゲリラの首謀者として疑いを
かけられた現地住民の捕虜の殺害
に立ち会うこととなる。その男に
敵陣への案内を頼んでいたため、情
報を漏らさぬよう殺害するほかに
いという判断が下ったのだ。最初
は若い兵が命令を受け、男を刺す
ことになった。けれども人を殺すこ
とになれていない青年が、一度で致
命傷を与えられるはずがない。血
だらけになった男が駆け寄ってき
たとき、飯田さん自身が刀を抜き、
斜めに振り下ろした。男は一撃で
死んでいった。



飯田さんの自室に置かれている、戦死した友人たちとの写真

「あの村の村長が、私たちの師団
の参謀たちを騙し討ちにしたのだ
と思っていたんです」。けれども戦
後、慰霊のために訪れたこの同じ
村で、真実が突きつけられること
になる。殺害した村長は、ゲリラの首
謀者ではなかつたのだ。

「アジアを解放する、と息巻いて
いたその思い上がりや、嫌という
ほど痛感させられたんです。」「解
放」としてしていた住人たちが
ら、あれほど憎しみの目で見られ
たのだから」

飯田さんの語るこの体験こそが、
私に大きく欠落していた視点だ
ということに次第に気づかされてい
く。東京大空襲、沖縄の地上戦、広
島、長崎に落とされた原爆。勿論そ
れぞれが学ばなければならぬ歴史
の傷跡ではある。けれどもこれま
で学んできたことの大半が、「被害
の記憶」だった。大戦である以上、傷
つけられているものの裏側には、当
然、傷つけている立場としての姿が
あるはずだ。それをどれだけ学ん
できたのだろうか。

伝えたい
いのちの重み

8

未来に語り継ぐ戦争Ⅱ

ー 語り部のバトンを次世代へ／戦後70年、岐路に立つ私たちの平和主義ー

安田 菜津紀



終わらない「昭和」
戦犯という過去を伝える

「戦争体験者の方と対談してみ
ない？」そう声をかけられたのは
大学時代、22歳のときだった。終戦
記念日に戦争体験世代とその後に
生まれた世代の対談を毎年企画し
ている新聞社からの声かけだった。
聞くと、お相手となる方は戦禍が
熾烈を極めたニューギニア戦線
生き延びた、元BC級戦犯。とっさ
に身構えたことをよく覚えている。
恥ずかしながら当時、あの第二次
世界大戦について教科書に書いて
ある程度の知識しか持ち合わせて
いなかった自分にとって、全く馴染
みのなかつた「元BC級戦犯」とい
う言葉は、漠然とした恐怖を感じ
させるものだった。

対談をさせていただいたのは飯
田進さん(当時86歳)。戦後64年目
の、64歳差対談だった。柔和な顔つ
きで、穏やかな語り口調。面と向き
合ってみて初めて、私はほっと安心
することが出来た。BC級戦犯と
は、「通例の戦争犯罪」や「人道に対
する罪」に問われた人々のことを
指す。飯田さんの柔らかな眼差し



るからなんですよ」。無力感に襲われながらも、その語り継ぐ覚悟は揺らいではいなかった。

私たちは戦争体験世代の話を通じて聞くことができる最後の世代だ。これから生まれてくる世代には、私たちがそのバトンを手渡していかなければならない。どうすれば、飯田さんたちの想いを受け継ぐことが出来るだろう。溝とい

う言葉に、不安がよぎる。少し考えるから、飯田さんはこう続けた。

「伝わりにくいものだ、ということとをまず知らなければならぬ。その困難さをどれだけ骨に刻んで知っているかで、相手に説得力を持てて伝えることが出来る」

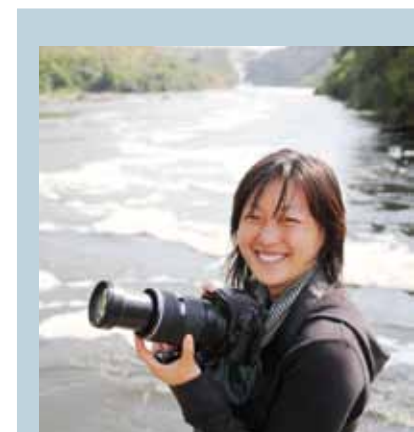
想像力で到底追いつかないものかもしれない。それを身をもって知るためには、歴史と共に生きてきた言葉と向き合い続ける必要があるのだ。

飯田さんは続ける。

「語らずにいられないのにはもう一つ理由があつてね。これは徒労かもしれないと知りつつ、あなたたちのようにどれだけ肌身を通して感じる事が出来るか、そんな想いで聴き続けてくれる人がいるからです。だから他者に伝えるというところが、生きがいにもなってきた」

飯田さんが昨年出版した本のタイトルは、『たとえ明日世界が滅びるとしても』だ。そこに続く言葉に、一抹の希望を託したのではないだろうか。

飯田さんが語るように、あまりにも時代が移り変わり、体験を語ることを躊躇する、語っても伝わら



安田 菜津紀

フォトジャーナリスト

1987年神奈川県に生まれる。2003年「国境なき子どもたち」の友情レポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。守るものがあることの強さを知り、彼らの姿を伝えようと決意。2006年写真と出会ったことを機にカンボジアを中心に各地の取材を始める。現在、東南アジアの貧困問題や中東の難民問題などを中心に取材を進める。2008年日本青年会議所主催青年版国民栄誉賞「人間力大賞」会頭特別賞、2009年日本ドキュメンタリー写真ユースコンテスト大賞、2012年第8回名取洋之助賞など受賞。



スガモプリズンの中での1枚。読書に没頭していた頃の飯田さん



敗戦の意味を 考え抜く「時間」 スガモプリズン収容

「戦争世代は体験を語らない」といわれることがあるけれど、「語れないんだ」と飯田さんは続ける。この場が終わって家に帰れば、どこにでもいる普通の若い人だ。自身の孫に戦争体験を直接語ったことはないのだという。自分

の子どもたち、孫たちに、「自分が人を殺した」と語ることなど到底できないのだ。傷つけられた体験以上に、傷つけた体験は目を背けてしまいたくなる過去なのだった。

敗戦を迎えた翌年の46年、飯田さんはこうした捕虜の殺害などの罪に問われ、オランダ軍に逮捕される。辛うじて死刑は免れ、ジャワ島の刑務所で過ごす中で、インドネシア独立戦争が起き、オランダが主権を失った。こうして50年1月にたどり着いたのが、GHQがA級、B級戦犯を収容していた「スガモプリズン」だった。飯田さんから話を聞くまで、私はその名前すら聞いたことがなかった。それが今という、池袋のサンシャインシティにあたる場所だということも

だ。

探し続けた。

そんな中で50年、朝鮮戦争が勃発する。元職業軍人たちが、次々に警察予備隊に入隊していく様子に、飯田さんたちは獄中で憤った。「再び戦争へと向かっていくなら、自分たちは何のためにここで裁かれているのか」

飯田さんのそんな思いとは裏腹に、警察予備隊は保安隊となった後、54年に自衛隊となった。こうした時代の流れの中、飯田さんも56年、釈放されることとなる。

戦争体験、特にほとんど語られてこなかった加害側としての体験、それを語ることはときに、吐き気を伴う苦痛だという。それでも語り続けることによって、この流れに抗おうとしてきた飯田さん。けれどもその「逆コース」の歩みにはそれからも、ブレーキがかけられずにいる。

想像を絶する戦争体験 この教訓を 風化させないために

今年92歳となる飯田さんの元を再訪した。再び武力に走りかね

ない今の状況をどのように見つめているのか、どうしても直接確かめたかったからだ。最初に飯田さんと言葉を交わして強く感じたのは、憤りよりも深い悲しみだった。

「これまで何度となく戦争の体験を語ってきた。それは徒労に近い作業だったのかもしれない」。想像力と現実との間には大きな開きがあるのだ、と飯田さんは語る。友に弾が突き刺さり、あるいは病に侵され、「殺してくれ」と自身の腕の中で亡くなっていた風景を、今でもありありと思い出すという。それは想像力の欠如の問題ではなく、あまりにも時代が移り変わってきたことが、埋めがたい溝を生み出してしまったのだ。そう話す飯田さんの目は遠くを見つめていた。

「例えば百分の一、ときには千分の一しか伝わらないことが多々あるだろう。何百回語っても、無意味に近かったのかもしれない、と思うときがある」

一呼吸置き、飯田さんは更に続ける。

「それでも語らずにはいられないのはね、同じ想いを繰り返してはいけないことを、身をもって知ってい

全国で107人と初めて100人を超えたというのですから、問題は深刻です。現場の教師たち、さらには校長や副校長、教頭のストレスは計りしれません。

2013年にOECD（経済協力開発機構）が34の国や地域を対象に中学校レベルの教員の勤務環境を調べた「国際教員指導環境調査（TALEIS）」によると、日本の教員の勤務時間は週約54時間で最も長く、平均の1.4倍でした。その中身はというと、「指導（授業）に使った時間」は17.7時間、「保護者との連絡や連携に使った時間」は1.3時間で平均よりも短く、部活動などの「課外活動の指導」が7.7時間と平均（2.1時間）を大きく上回っていました。また、校外で行う研修などを含む職能開発への参加率も日本は平均より低く、その理由として8割以上の教員が「仕事のスケジュール」を挙げっていました。つまり、教材研究や保護者対応といった肝心なところができておらず、部活や一般的

事務業務などに多くの時間を割いているのです。

さらには、教員の病気休職者が一向に減らないことも大きな問題です。文部科学省の発表によると、教職員の病気休職の理由は、「精神疾患」が最も多く、2013年度は病気休職者の6割（約5000人）が精神疾患でした。病気休職者数全体になると8000人超えが7、8年続いています。

こんな不幸な国はないと思います。教師が教師としての喜びを感じ



じることができないから、先ほど紹介したOECDの調査で、「もう二度仕事を選べるとしたら、また教員になりたいか」という質問に肯定的に答えた教員の割合は、日本は参加国中2番目に低かったのです（58.1%）。これは現場の教師だけではなくて、国の未来に関わる大変な問題です。

中村 若年退職者や50代前半で辞めてしまう教員も増えてきていますね。

尾木 それから、教師が社会的に信頼されていないというのも問題です。最近では、横浜市の元中学校長が26年間にわたってフィリピンで延べ1万2000人以上を買春したという衝撃的なニュースがありました。その元校長は「仕事のプレッシャーが強く、倫理観のたがが外れたとき、より解放感を味わえた」と供述していたというのです。

中村 絶対に認めてはいけないことですが、その言葉に考えさせられたのは確かです。

尾木 そうですね。本来であれば仕事の中で解放されなく



ではおかしいんです。教師が追い詰められてしまうほどの現場の状況を冷静に見なければいけません。

中村 教職員の砂を噛むような忙しさの中では、教師としての充実感は何れられませんね。だから私たち教職員共済は、家庭も学校生活も、トータルに教職員を支えたいと思っています。安心のサポートをしてあげたいですね。

尾木 「安全で安心」というのは人間の基本的欲求です。守られて



【教職員共済生活協同組合 創立50周年記念対談】

※この対談は、5月25日東京都内で行いました。

今の日本の教育問題について語り合う

教職員共済生活協同組合 理事長

中村 譲

対談

教育評論家、法政大学教職課程センター長・教授、臨床教育研究所「虹」所長

尾木 直樹

「互助の精神」から生まれた教職員共済

中村 最初に、教職員共済について簡単に紹介させていただきます。消費生活協同組合法（生協法）にもとづく生活協同組合の一つで、厚生労働省の認可を受けております。発足当初は任意団体として、1965（昭和40）年に設立されました。現在、加入者は現職者が約30万人、退職者が約22万人、合計約52万人と、大変大きな全国的組織です。この教職員共済が今年で創立50周年を迎えました。その記念すべき年に尾木先生と対談させていただくことができ、大変光栄です。

尾木 教職員共済が設立されたころは、僕はまだ教員になっていなかったですね。確か1973（昭和48）年ごろに教員になったので。

中村 教職員共済があつてよかったと思うのは、阪神淡路大震災や東日本大震災で、それぞれに総額

教職員共済創立50周年を記念して行った尾木氏と中村理事長による教育対談。現場の多忙さやネット教育など、深刻な日本の教育現場の問題を、尾木氏の持ち前の柔らかさと鋭さで切り込んでいただいた。

で約30億円、約39億円の給付を行うことができたことです。教職員共済という組織をつくっていたからこそできた給付だったと思っています。

尾木 設立された当時は、「互助の精神」というものが今よりはるかに強かった時代ですね。

教員の忙しさと教育現場の弊害

中村 さて今日は、「現在の教職員を取り巻く問題点」について、尾木先生のご意見を伺いたいと思います。まず、私が一番問題だと思うのは、教職員の多忙さです。

尾木 つい先日の新聞にも載っていましたが、学校の先生で最も多忙とされる副校長や教頭への昇任試験の志願者が少ないというのです。さらには降格を望む副校長や教頭も増えています。高校などを含む公立校の副校長や教頭から教員への希望降任は、2013年度は

Naoki Ogi × Yuzuru Nakamura

Special Interview



いるという安心感があれば、教師は子どもに優しくできます。「連帯」「共同」、柔らかな言葉で言えば「共生」ですね。

同僚間での連帯感、支え合いが大切

尾木 それから、僕が今、非常に危惧の念を抱いているのは管理教育が徹底してきているということ。東京都では、校長の上に統括校長を置き、校長の下に副校長を置きました。統括校長は5、6校に1人配置されます。副校長は以前の教頭職に当たりますが、教頭は授業を10時間ぐらいいは担当できるのに対し、副校長は授業をしては

て、世界中の人が見て、さらには世界中からいろんな書き込みが寄せられますよね。

尾木 それがネットの特徴です。ちょうどこの4月に『おしえて！尾木ママ最新SNSの心得』（ポプラ社）という本を出したばかりなのですが、今、急務なのは「ネットリテラシー」教育です。つまり、パソコンやスマホなどの有効的な活用方法や危険性を学ばせることです。日本はそれがないまま、子どもに機器を買い与えている。こんなことは他の国ではありえないことで、問題が起きるのも当然です。

中村 教職員共済も、50周年を期に職域への社会貢献として、学

いけない決まりがあるのです。つまり、副校長はあくまで校長を支える立場にあり、完全な管理職です。教頭は教員のトップであるため、子どもたちとも触れ合うことができます。それが教頭のよさであって、信頼してついでにくれる教職員がいれば、橋渡し役として校長に様々な提言もできるでしょう。しかし、副校長にはそれが許されないわけです。さらに主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭と、組織構造がすごいピラミッド状態になっています。

しかも、東京都では2000年度から新しい教員評価制度（人事考課制度）を導入し、それが全国に浸透していききました。さらに、校長、副校長（教頭）は教育委員会から評価されます。もちろん、どこ这个社会でも「評価」はありますが、教員の人事考課制度は上から下への評価だけで、ボトムアップはありません。

そうすると、上の評価基準に合わせたところに意識が向きがちになってしまふ。つまり、不登校の子にどれだけ配慮したかとか、発達障がいの子に目を向けているかと

校教職員や児童・生徒を対象としたSNSの出前講座を専門家に委託して行うことを計画しているんですよ。

尾木 やはり、「子どもと一緒に」をキーワードにして、対策を考えるべきでしょうね。今の子どもたちは、本能的にネットを使えるんです。僕の孫も、2歳になる前に僕のガラケーを手にして、スマホではないのに画面を指でスクロールしようとしたくらいです。

自分ができていることを考え、自分で動くこと 支え合いが大切

中村 これから教職員になる人や、現在教職に就かれている人にエールを送っていたきたいのです。

尾木 僕は今、法政大学教職課程センターのセンター長をやっていますが、学生たちは夢と希望に燃えています。だけど、教員になって現場に入ったときに、理想どおりに行かなくて非常に苦しみます。そういう辛さを同じ若手の先生たちと共有することが大事で

いうことが評価されない。結局、間接的に弱者切り捨ての教師にならざるを得ないのです。それが精神的なストレス、やりがいのなさにつながり、支え合い、互助の精神もなくなってしまうということですね。

もう一つ、コンピューターの導入も決定的です。これによって、朝の職員室での打ち合わせの光景も一変しました。今では教頭や教務主任の顔なんて見ないで、返事もパソコンでするそうです。

中村 味気ないですね。説明責任を果たさなくてはいけないから記録をとっておこうとか、直接教員同士、あるいは子どもとぶつつかっていくことが少なくなってしまうました。

尾木 本心に悪い連鎖ができてしまっていますね。肝心のところであつながら合う互助の精神、人間としての当たり前の気持ち。もっと素朴でいいのだと思います。困ったら助け合おうよ、と。

中村 私もそう思います。結果、教員一人ひと

す。現実には厳しいですよ。校長は管理ばかり気にしていると思っても、その校長も実は辛い立場に置かれていたのであつて、かつては子どもが大好きだったのだから、学校には本気の敵対者はいないはずなんです。だから、どこかでわかり合えるはずだから、短気を起こしてけんかをしたりしないように、と言っています。立場の違いで対立はあつても、基本的に学校にいる校長も教頭も心をつなげられる人たちなのです。みんなをつなぎ合う。それが弱い糸でもいい。30人いれば30本の糸をつなぎ合わせれば、強い糸になります。

それから、うちの教育委員会が悪い、校長が悪いと、すぐ上のせいにする先生方がいらつしやいます。たしかにそうかもしれないですが、まずは自分にできることは何かを考え、自分が動く、自分が主役になってほしいですね。そういう人が若手で5、6人いたら、職場は変わりますよ。

中村 今日は本当にありがたうございました。

りが自分を守るために孤立してしまっているのですね。

尾木 教育の専門家たちはよく「同僚性」という言葉を使います。学校内の教師同士の共同関係や援助の重要性を指しているのですが、放課後に、先生同士で悩みを話し合う姿が今はとても少なくなっているのではないのでしょうか。

日本は「ネットリテラシー」教育に本腰を入れて

中村 パソコンといえば、最近はネット上でのいじめが多いといわれます。ネットの中に引きこもるといいますが、ネットは外に開けてい



『おしえて！尾木ママ最新SNSの心得』（全3巻）図書館版
監修：尾木直樹
発行：ポプラ社

株式会社マクロミルは、尾木氏と共同で『いじめの未然防止・早期発見を目的とするアンケートテンプレート』を作成し、提供しています。いじめの実態を正確に把握し、かついじめを未然に防ぐためのツールですので、活用してみてください。

マクロミル「いじめの未然防止・早期発見を目的とするアンケートテンプレート」
<http://www.macromill.com/company/release/20150331ogi/>
<https://questant.jp/template/bullying.html>

創立 50 周年記念祝賀会を開催

教職員共済生活協同組合は 2015 年 4 月、創立 50 周年を迎えることができました。

1965 年の創立以来、教職員の相互扶助の輪を広げ、教職員になくはない存在になることを目指して、最大奉仕の原則を貫き、新しい共済制度の開発と経営基盤の安定に努めて参りました。

「教職員の健康、老後の保障、教職員が安心して仕事ができるための制度を作る」という設立当初の理想は、現在、「総合共済」「年金共済」をはじめとする 10 の共済制度に結実し、52 万人以上の組合員の皆さまにご利用いただいております。また、総資産は 2014 年に 8,000 億円を突破し、過去最高を記録しました。これも当生協を支えてくださった皆さまの、あたたかいお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

教職員共済を支えてくださった皆さまに感謝の意を表し、6 月 29 日に東京の椿山荘で創立 50 周年記念祝賀会を開催しました。祝賀会には、塩崎恭久厚生労働大臣、小松親次郎文部科学省初等中等教育局長をはじめ、500 名以上の方々が参列され、鏡開きの儀式等が行われました。



祝辞を述べる塩崎厚生労働大臣

50 周年記念映像を公開中

教職員共済では、50 周年記念映像をホームページで公開しています。創立から 50 年、教職員共済のあゆみと新たな決意をぜひご覧ください。

50 周年記念映像は、教職員共済ホームページの 50 周年記念ページからご覧いただけます。



50 周年記念ページへはこちらから ▶ 教職員共済 50 周年 検索 <http://50th.kyousyokuin.net/>

●教職員共済お問い合わせ先一覧●

共済についてのお問い合わせや、お名前・住所・勤務先等変更時のご連絡は、下記までお願いいたします。

※国立大学法人・公立大学（附属等含む）に勤務されている方は大学事業所へ、私立学校に勤務されている方は私学事業所へご連絡ください。

事業所	電 話	事業所	電 話	事業所	電 話
北海道	(011)533-1801	新 潟	(025)281-8145	広島(高校)	(0120)955-245
青 森	(0120)79-9431	富 山	(076)441-4073	山 口	(0120)585-080
秋 田	(0120)245-681	石 川	(0800)200-9431	東四国 (香川徳島)	(0120)27-8140
岩 手	(019)687-6760	福 井	(0776)23-1334	愛 媛	(089)998-2141
山 形	(0120)31-8528	愛 知	(052)251-1800	高 知	(088)823-4546
宮 城	(0120)384-206	岐 阜	(03)5228-0657	福 岡	(092)631-4601
福 島	(024)523-3011	三 重	(059)225-2220	佐 賀	(0952)31-8730
栃 木	(028)652-8600	京 滋 (京都・滋賀)	(0120)21-7490	長 崎	(095)825-8173
茨 城	(029)301-7151	奈 良	(0120)34-3503	大 分	(097)556-4300
群 馬	(0120)26-0753	和歌山	(0120)21-9431	熊 本	(096)372-1311
埼 玉	(048)823-4055	大 阪	(06)6768-4910	宮 崎	(0120)27-3228
千 葉	(043)224-3701	兵 庫	(078)221-9730	鹿児島	(099)225-2587
東 京	(03)3230-0818	鳥 取	(0120)26-6750	沖 縄	(098)867-1767
神奈川	(045)242-6660	岡 山	(086)273-2359	※大 学	(0120)628-095
山 梨	(055)221-2248	島 根	(0120)21-8361	※私 学	(03)5228-0657
長 野	(026)235-0659	広 島	(082)264-1752		
静 岡	(054)251-1085				

各共済の資料はホームページからご請求いただけます。▶ 教職員共済 検索 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

キャラクターの愛称が決定しました!

このたび教職員共済では、創立 50 周年を記念して誕生したイメージキャラクターの愛称を募集いたしました。4 月 1 日～6 月 30 日の募集期間で、1539 件ものご応募をいただき、まことにありがとうございました。
選考の結果、最優秀賞の「あむりん」が、愛称として決定いたしました。

2015 年 4 月から教職員共済のイメージキャラクターとして活躍中のあむりん。これからも教職員共済とともによろしく願いいたします。

あむりんです。
よろしく
お願いします!

最優秀賞（採用作）

「あむりん」

教職員共済のキャッチフレーズである「あ」んしん、「む」すぶに+き「りん」で「あむりん」です。

小林 久美子 様（秋田県）

最優秀賞として、商品券 3 万円とあむりんが 3 D で浮き上がるクリスタル置物を贈呈します。

優秀賞

「キラ☆ポン」 「きりん」と「ラポール」から命名しました。
清水 嘉太郎 様（東京都）

「ラポリン」 助け合いを意味するラポールから「ラポ」、そしてきりんの「リン」を組み合わせました。
水野 志穂 様（愛知県）

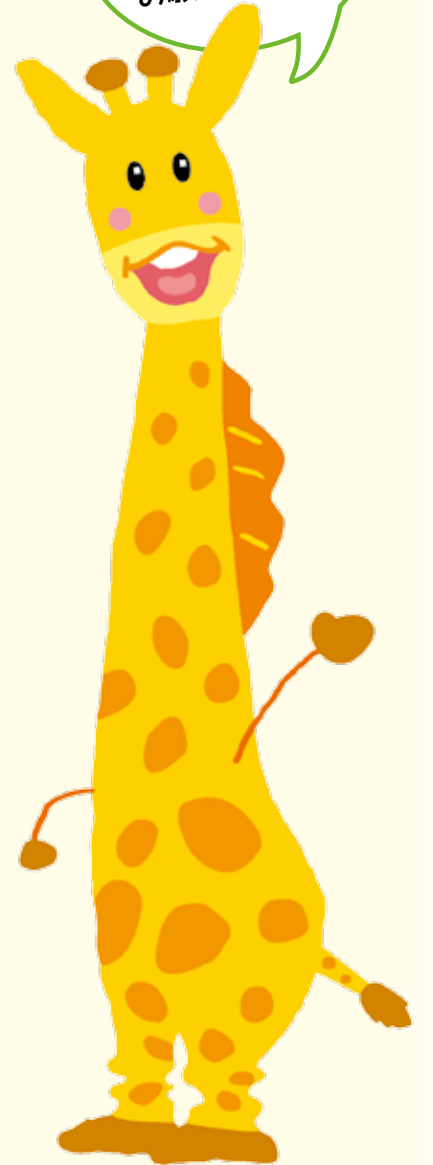
「ラポルン」 教職員共済の理念「助け合い」はフランス語で「ラポール」。キャラクターのきりんは、それを表現しているので、「ラポール」の響きを生かして。また、いつも共済の原点を意識してもらえようと、考えました。
高見 豊彦 様（岡山県）

優秀賞として、3 名の方には商品券 1 万円とあむりん L E D キーホルダーを贈呈します。

※ 同名での応募については抽選のうえ選出しています。

参加賞

応募いただいた方の中から抽選で 1 0 0 名の方に、あむりん L E D キーホルダーを差し上げます。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



交差点

【全国からのお便り】

老後の楽しみというけれど

三重県 中村 昌弘

やつと子どもが親の手を離れ、少しは自由になれると思っていたが、今度は親の介護でいろいろと制約を受けるようになってきた。これも、いつまでも続くわけではないだろうが、その頃には自分たちの体の自由がきかなくなっているのでは、と思うこの頃です。

そう思うと、本当に若いうちに何でも思いつてやつておかないと、後でと思つてみると、なかなか思うようにいかないのが現実。若い時に行動できるように、若い世代に金銭的にも後押しできるように、若いうちの準備を考えると、その準備が、現実になるようにしたいものだ。

怖いイタズラ電話

青森県 川口 花葉子

先日、勤務校にイタズラ電話がかかってきました。相手はハレンチな質問をし、電話をとった私は、何を返せばよいかわからず、そのまま無言

これからの年金制度に不安

福島県 渡邊 文佳

私の祖父は86歳。毎年のように年金が減額されるとはやいている。私の母は56歳。昨年の3月に早期退職し、今は無給。昔は60歳定年で年金が出たそうだが、63歳で二部の年金、65歳で満額になるそうだ。

それでは、私が退職する頃は、いったいどうなるのだろうと心配になる。年金そのものが存在しなくなるのではないか？

母は「今から個人年金を積み立てておくように」とアドバイスしてくれた。教職に就いて4年目。スタートしたばかりなのに、退職後の心配なんて、先が思いやられる今日この頃である。

変わる車選びの基準

静岡県 須藤 佳久

ここ数年間、車を買ひ替えようかと思ひ悩みながら過してしまふ。現在17年目に入つた我が愛車は、別段故障があるわけではなく、自分としては大変気に入つてゐる。

でも、教職員共済だよりに連載されてゐた自動車ジャーナリストの川端由美さんの文章を読むにつれ、EVやPHV、さらには燃料電池車に興味を沸くようになってきました。まだまだ未来のものと思つていたのですが、現実にそれらが走る時代にな

で切つてしまいました。

まさか教育機関にそのような電話がかかってくるとは思ひなかつたので、大変ショックを受けました。また、電話を取つた際に名まえを名乗つてしまったのが気になります。

マナー研修等では、名乗つた方が丁寧と教えられたのですが、こういったことがあれば、対応を改めなければならぬと思ひました。

自由に遊びまわれる環境を

愛媛県 井原 行則

私は保健体育の教員で、現在は中学校の校長をしています。授業を外から見ると、多くの先生が、授業を教える機会が多くなつて、野性味にあふれた運動能力抜群の子どもの数が少なくなつてきたと感じる

ことです。小さいころから一つのことしかしてなくて、野球が上手い、サッカーが上手という子どもはいますが、総合的な運動能力や、その他の種目はどうだろうかと思ひます。そこらはまづたいていできない子どもが多いです。

というよりは、経験がないといった方がよいかもしれません。もつと外で遊べる環境がほしいし、いろいろなことを経験できる時間もあるといいのにと痛切に感じます。

りました。

乗り心地とか安全性とかデザインだけでなく、いかに環境に優しいかという視線も大切だと思ひようになりました。

子どもたちにもクールビズ

山梨県 中込 好美

山梨県では30℃を超える日が続き、梅雨の前に夏本番を迎えたような心地です。

社会人は「軽装期間」や「クールビズ」などが定着してきた頃かと思ひますが、学校の生徒たちにとつては、まだまだなじみがないのかな、と思ひます。

しかし、夏服や冬服だけでは、暑さ寒さに対応しきれないこともあるのではないのでしょうか。子どもたちにとつても、過ごしやすい装いが広まればよいのに、と思ひます。

気になる周りの目

新潟県 奥山 貴生

「社会に適応できる子どもを育てる」それが大人の役割だと感じている。しかし、実際の教育現場や社会はどうだろうか。あまりにも子どもや保護者の顔をうかがい、もはや「社会が子どもに適応している」とさえ感じる。

昔はスポーツテスト1級をとれた子どもはスーパースターの称号を得たような感じで羨ましかつたですね。今の子どもたちには昔の種目、得点でスポーツテストをした場合、1級をとれる子どもはいないのではないのでしょうか。

野山や川、そして海で自由に遊ぶことができる環境や時間を、子どもたちに与えることができたらいとつくづく感じている昨今です。

痛いひらめき

三重県 荻田 達也

教職員共済だより154号の「頭の体操」の問題は、なかなか解くことができず、キーワードのカギは2文字しかわかりませんでした。

諦めかけていた時に、食あたりに遭い、人生初の点滴を経験しました。その日、家に帰つた途端に、パズルの答えが頭に思い浮かびました。自分は、潮干狩りで獲つた貝が原因で、今苦しつたんだと……。

校歌制定百周年記念

長野県 上原 浩一

長野県には、県民に親しまれる「信濃の国」という歌がある。この歌を歌えば、長野県の歴史や地理、文化

子どもを育てるのは、社会や大人だ。周りの目が気になつて仕方がない臆病な大人は、子どもの未来など見ることができなくなるだろう。

周りの目ではなく、純粋に子どものことだけを気にすることができれば、もう少しのびのびした日々が過ごせそうな気がする。

育ってくる後輩たちに乾杯！

愛知県 寺島 裕子

「お久しぶりです！覚えていますが、僕のこと……?!」今春、市の教育研究会の総会で受付をしていたときのこと。10年程前に教えた子たちが次々と「教師」となり、その会に出席するために、やつてきた。

数年前、初めて教え子が教員採用試験に合格し、教職の現場に現れたなあと思つたのも束の間。今年は何と、10名以上の子たちが現れたのでした。

「先生、全然変わつていないですね」と話してくれる子もいました。自分としては、いつまでも新任の時と同じように、謙虚さと若さを忘れずにと思ひ、過してしまつた。

彼らの成長を祈りつつ、同じ職場で働く日を楽しみに、今の教え子たちと日々、切磋琢磨していこうと思ひます。

教え子に、後輩に、乾杯！

などが学べるすばらしい歌である。

おもしろいことに、この歌を学校で教えるということはない。でもなぜか、信州人はこの歌を歌うことができる。

その作詞者は浅井潤。彼が、今私が勤務している学校の校歌を大正4年に作詞した。今年、ちょうど100年を迎える。

今、地域の方々をはじめ、多くの人たちと、この歌い継がれてきている校歌を祝う会を進めている。

今こそ声を上げよう

愛知県 岩田 憲彦

安保闘争があつた頃は、国民全体にエネルギーが満ちあふれていました。今は、国の根幹を揺るがす「憲法第9条」が改悪されようとしています。

皆さんの中で、日本が再び戦争をする国になつてもいい、自分の教え子が、自分の家族が戦場に行つて戦死してもいいと考えている人は誰もいないと思ひます。

なのに、政府の主導する方法にまんまと乗せられて憲法を改悪する動きになつています。

国民が今、声を上げなければ、どんなこの国は悪い方向へ行つてしまいます。皆さんもぜひ声を上げていきましょう。

教職員共済のホームページから、『教職員共済だより』に投稿できます！

ご存じですか？

頭の体操に交差点、全国の旨いもの投稿、さらにはバックナンバーもチェックできます!!



バラエティにとんだ読み物も満載!

授業に役立つヒントから簡単リラクゼーション方法、知っておきたいネットマナーなど、さまざまなテキストを掲載。無料のメールマガジンもチェックです!

ホームページでも「教職員共済だより」をお楽しみいただけます。投稿&応募も、web経由でとってもカンタン!

教職員共済ホームページ <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

教職員共済

検索

統計と理論で読み解く「いじめ対策」

いじめを
解決するために

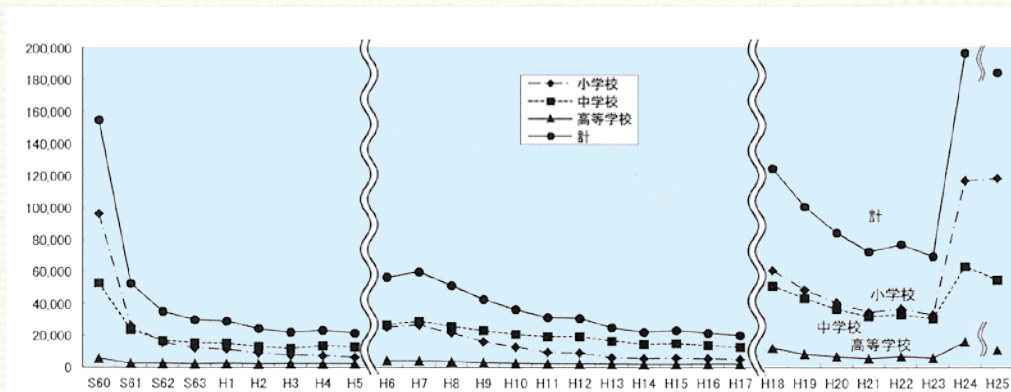
NPO法人「ストップいじめ！ナビ」
(以下、いじめナビ)代表理事の荻上チキです。この連載では、いじめに関する国内外の研究事例を紹介しながら、いじめの具体的解決に向けた議論を行っていききたいと思います。

私が代表理事を務める「いじめナビ」の活動は、2012年にスタートしました。大津市で起きたいじめ自殺に関する報道により、いじめ問題が改めて大きくクローズアップされたことがきっかけです。大きなメディアイベントと化した当時の報道ですが、その内容は極めてセンセーショナルなものでした。どのような仕方はいじめ問題を解決しようとしているのか、分らず、「煽るだけ」「叩くだけ」の報道が目立ちました。

た印象が広がります。

よく紹介されるのが、文部科学省の統計データです。しかしこれは、あくまで学校が把握したデータのうち、行政に報告されたもの。つまりは行政側の「認知件数」であつて、子ども

<図>いじめの認知(発生)件数の推移



(出典) 文部科学省「平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

日本では、1980年代にいじめが社会問題化されてから、30年以上にわたつていじめ研究が行われてきました。海外でもいじめ現象はあり、その国ごとの研究も行われています。研究はまだ発展途上ですが、それで



「いのちの生徒手帳」の例。いくつかの自治体で取り組みが始まっている

も少しずつ分かってきている事実があります。そうした知見が、教育現場、メディア、行政などと共有されていない。そこで「いじめナビ」は、それらの蓄積を尊重したうえで、行政、教育現場、メディア等とのワークショップなどを通じて情報共有を行うとともに、授業づくりや児童向けナビサイトづくりを行っています。

また、「いのちの生徒手帳プロジェクト」に代表される、さまざまな取り組みも行っています。これは、生徒手帳に、いじめ対策のためのページをプリントしようというプロジェクトです。プロジェクトの背景には、①NPOや行政機関が相談ダイヤルの印刷されたカードを配布してきたが、なかなか浸透しない、②中学校はいじめの認知件数が非常に多い、③日本では、暴力系のいじめよりも、証拠の残りにくいコミュニケーション操作系のい

もたちの生活における「発生件数」ではありません。「認知件数」はいじめ問題がメディアで大きく取り上げられた年に急増します。行政が緊急調査を行ったり、学校がアンケートや面談を増やしたりするためです。

グラフを見ると、いくつかのタイミングで、いじめ件数が急増し、そのあと数年で減少・横ばいとなることがわかります。その理由は単純です。いじめ事件がメディアでクローズアップされたこと。その結果、文部科学省がいじめの定義を変更し、より多くの件数がカウントされるようになったこと。また、報道を受け教職員や保護者がいじめ問題に敏感になり、短期的にアンケートや面接を増やすこと。こうした条件が重なり、一時的にいじめの認知件数が高まっているのです。

しかしこうした現象は過渡的なもの。数経年経てば、いじめ問題に対する取り組みは減ります。熱心に取り組んでいた先生が異動になるなどして、学校としての試みが継続されていかない。その結果、認知件数が減る。しかしそれは、いじめそのものの発生件数が減ったことを意味しません。つまりこのデータはいじめの実態を把握するためには、何の役にも立たないのです。

いじめの「発生件数」を把握するためには、適切なアンケート調査を毎年行い続ける必要があります。しかし今の日本政府は、そうした統計調査を行っていません。つまりこの国はいじめ対策という名のものとさまざまな試みを散発的には行うものの、どれだけのいじめが生じているのかを、まったく把握していないということになるのです。

では、実際のところはどうかなのでしょう。国立教育政策研究所が、「いじめ」というキーワードを用いずに行った長期調査「いじめ追跡調査」では、数々のいやがらせ行為はおおむね「横ばい」であると報告されています。

一方で、株式会社ドワンゴが2012年に行った大規模ネットアンケート「いじめに関する107万人アンケート」では、30代をピークに、いじめ被害の報告者が減少しています。このほかいくつかの調査では、「横ばいであること」を示すデータや「減少していることを示すデータ」の両方が存在しています。

調査方法が異なるので、どちらが正しいのか、現在の私は断言できません。しかし、文部科学省のデータやメディアの報道ブームから受けるような「いじめピーク」に関する印象は誤りであるとは言えます。

じめが主流となることなどが挙げられます。

そこで、「いじめを受けた時の相談先」「いじめを目撃した際の通報先」および「いじめを受けた際の記録のつけ方」などを生徒手帳に明記し、学期冒頭において校長や担任などから児童・保護者に対し、そのページの存在を告知してもらおうというわけです。学内連絡先だけでなく、学外のNPOなどの番号も載せることを推奨しています。この手法であれば、新たに予算を割く必要はありませんし、生徒手帳は多くの児童が携帯しているの、いざというときにもわかりやすい。皆さんの学校でもぜひ導入してみてください。導入に関する相談はNPOで受け付けています。

(<http://stopjime.jp/school/>)

「学習環境実態調査」を実施して「いじめの発生件数」を把握する

連載では、日本のいじめ傾向とその対策について、データや理論に基づいた解説を行いたいと思いますが、今回は、日本のいじめ件数について考えましょう。いじめ問題がメディアで大きく取り上げられると、いじめが激増している・凶悪化している、とい



荻上 チキ

1981年生まれ。シノブス編集長。評論家・編集者。主な著書に『ネットいじめ』(PHP新書)、『社会的な身体』(講談社現代新書)、『いじめの直し方』(共著、朝日新聞出版)、『ダメ情報の見分け方』(共著、生活人新書)、『未来をつくる権利』(NHK出版)など

もし政府が真剣にいじめ問題に取り組むのであれば、まずは適切な調査を行う必要があります。例えば、年に2、3回、「学習環境実態調査」を行うのはどうでしょうか。児童と保護者にアンケートを配布「ほかの児童から以下のような行為を受けましたか」「教職員から以下のような行為を受けましたか」として、授業満足度、いじめ、体罰、登校状況(不登校の定義には外れたとしても、登校に困難を感じている児童は統計以上に多いため)、スクールセクハラなどの実態を掘り起こすのです。

いじめについては、「いじめ」という抽象的な単語で聞くのではなく、「嫌なあだ名で呼ばれた」「物を隠された」などの項目ごとに聞き、その期間などを尋ねる。アンケートは教職員ではなく、第三者が収集し、匿名性を守る。こうした調査があれば、より実態に近いいじめ件数を知ることができそうです。

頭の体操

くろすわーどばずる

イベント 仮装して楽しもう

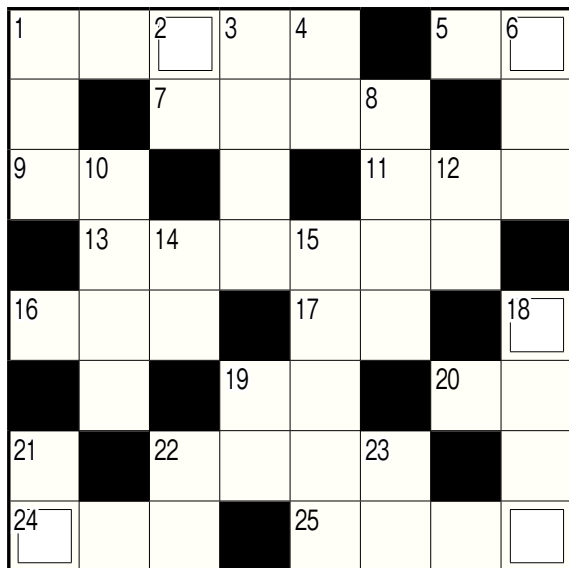
教職員共済だより

2015
Vol.156

2015年10月1日発行(年4回発行)
発行人 中村 謙 編集 事業メディア部
発行所 教職員共済生活協同組合 〒162-8624

東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済 電話03(5228)0661(代)

二重ワクの文字をならべかえすと答になります。



出題・鈴木栄一郎

タテのカギ

- 1.「叫び」で有名
2. 保守的なグループ
3. 新国立競技場、甘かった〇〇〇〇
4. 絵をかくこと
6. 54年ぶりにアメリカと国交を回復した国の首都
8. ほうれんそう、小松菜などにおかかをのせて
10. 日本では一般に「聖戦」と訳される、ムスリムの義務
12. ケチャやレゴン、バロندانズで有名な島
14. 宿泊施設。木賃〇〇
15. 四方を壁に囲まれたコートで行なう、テニスに似た球技
18. 狡い、意地悪
19. 囲炉裏に隠れた「さるかに合戦」の助っ人
21. 貴方は食前に入る?それとも食後に入る?
22. 10億を表す単位
23. タバコの隠語

ヨコのカギ

1. 考えなしに行動する人、無鉄砲
5. 必要は発明の〇〇〇
7. 相撲で初めて対戦すること
9. あみだ、宝、貧乏
11. 2015年上半期の芥川賞受賞作
13. 有為転変。いつも乗り遅れてばかり
16. 野球やテニスなどの試合の組み合わせ
17. 港や船着場
19. 履物の総称
20. 仇で返す
22. ユーロ経済圏に激震
24. 昔はVHS。今はブルーレイ
25. 複数の楽器で同じ音をと同じ音域で奏すること

切り取り線

切り取り線

応募要項

- 応募用紙にクイズの答えをご記入の上、お送りください。
- ご応募の締め切りは12月末日(消印有効)。
- 正解者の中から抽選で、500名の方に図書カードを送ります。
- 当選者は発表をもって発表にさせていただきます。
- ご応募の際、「意見、感想」などお書き添えていただければ幸いです。本誌「交差点」またはホームページに掲載させていただきます。
- ご応募の場合には商品券を進呈いたします。

154号の正解「シオヒガリ」

応募総数323通(正解312通)の中から抽選で100名の方に図書カードをお送りしました。ご応募ありがとうございました。

「頭の体操」応募用紙
資料請求書

※必要事項を「ご記入の上、のりを塗り、張り合わせてご投函ください。

料金受取人払郵便

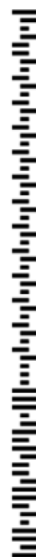
牛込局承認

7349

差出有効期間
2017年7月
31日まで
切手は不要です

162-8790

東京都新宿区山吹町10-1
ラポール日教済
教職員共済生活協同組合
教職員共済だより編集係行



切り取り線